

受験上の注意点

■ 新型コロナウイルス感染症感染予防対策

・試験当日

会場は、ソーシャルディスタンスを考慮した座席配置を予定しております。

ご入場前に非接触体温計による体温計測（検温）にご協力をお願いいたします。

検温の結果 37.5 度以上の発熱が確認された場合は、ご入場をご遠慮いただきます。

① 体調不良時の対応

ア 試験当日、発熱・咳等の症状があるなど、体調が万全でない場合は、無理して受験せず次回に受験してください。特に「健康状態チェックリスト」の確認項目のうち、A 欄で 1 項目以上又は B 欄で 2 項目以上該当する場合は、他の受験者や監督者等の安全確保のため、受験できません。

○健康状態チェックリスト

	確認項目
A	発熱の症状がある（37.5 度以上）
	息苦しさ（呼吸困難）がある
	強いだるさ（倦怠感）がある
B	味を感じない（味覚障害がある）
	臭いを感じない（嗅覚障害がある）
	咳の症状が続いている
	咽頭痛が続いている
	下痢をしている（持病や食あたりなど新型コロナウイルス感染症以外の原因が推測されるものを除く）
	過去 2 週間以内に、同居している者で医療機関を受診して新型コロナウイルス感染症の罹患が疑われ、かつ、その疑いが否定されないまま症状が続いている者がいる、又は、過去 2 週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等の在住者との濃厚接触（1m 程度以内で 15 分以上接触）がある。

イ その他の体調不良の場合も、無理して受験する事はお控えください。

ウ 試験場に到着してから発熱・咳等の症状が出た場合は、前述の「健康状態チェックリスト」に基づき症状を確認後、次回の受験とさせていただくことがあります。

エ 試験時間中に、咳を何度もしているなど他の受験者に影響があると監督者が判断した場合には、受験を中断のうえ別室で健康状態のチェックを行い、次回の受験とさせていただきます。

② マスク着用

ア マスク（予備のマスクを含む）を持参し、試験場内では常にマスクを正しく着用してください。

イ 使用済みのマスクについては、試験場で廃棄せず、必ず自宅に持ち帰ってください。

③ 手指消毒の実施

ア 試験室の出入口付近に速乾性アルコール製剤等を設置しますので、入退出を行うごとに手指消毒を行ってください。

イ 何らかの事情により速乾性アルコール製剤等を使用することが難しい場合は、受験者自身でこれに代わるものを準備し、手指消毒を行うようにしてください。

④ 会場内

ア 会場内は他者との会話、交流、接触を極力控えるとともに、自席以外に座らないでください。

イ トイレを使用する場合は、フロアの誘導表示に従うなど混雑を避けて利用してください。

⑤ 服装

試験当日は、試験室内の換気のための窓の開放等を行う時間があるため、上着などを持参してください。

⑥ 試験室からの退室

試験終了後、試験室からの一斉退室による混乱を避けるため、監督者から退室方法等について指示がありますので、その指示に従って退室してください。

・試験終了後

① 帰宅の際は、「三つの密」の回避など新型コロナウイルス感染症に感染しないような行動をするとともに、帰宅後は手洗い等の感染予防対策を十分に行ってください。

② 試験終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、日本腎臓病協会 事務局までご連絡ください。